

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ り電子公告ができない場合は、日本経済新 聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできま せんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。)	
ご 注 意	支払明細発行については、右 の「特別口座の場合」の郵便物 送付先・電話お問い合わせ先・ 各種手続取扱店をご利用 ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会 社等に口座を開設し、株式の振替手続さ を行っていただく必要があります。

●株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。 このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。	
【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】 法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。 【主な支払調書】 ＊配当金に関する支払調書 ＊単元未満株式の買取・買増請求など株式の譲渡取引に関する支払調書	【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ●証券口座にて株式を管理されている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ●証券会社とのお取引がない株主様 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178

第77期
株主通信 [中間報告書]

平成29年4月1日～平成29年9月30日



基本理念

Philosophy

- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 2 わが社は、有意義な製品とサービスを提供することにより社会に貢献する。
- 3 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 4 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。
- 5 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

Our Products

平河ヒューテックの製品



各種デジタルインタフェースケーブル



電源コード



超音波内視鏡用ケーブル

放送用光波長多重伝送装置

ネットワーク用光波長多重伝送装置

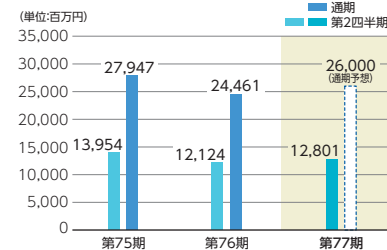


医療用補強材入りチューブ(体内使用)

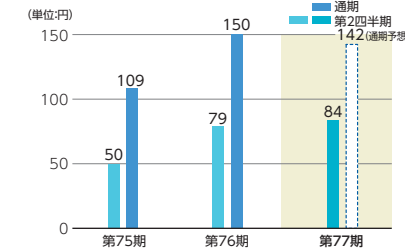
医療用多孔精密チューブ(体内使用)

連結財務ハイライト

●売上高

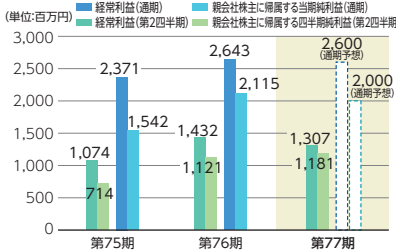


●1株当たり四半期(当期)純利益

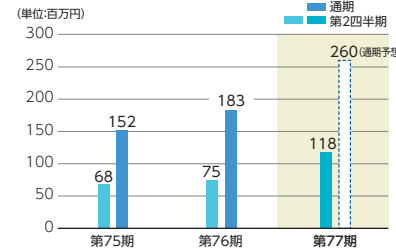


平成28年2月4日付で普通株式1株につき2株の割合に株式分割を行っております。
上記グラフは、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

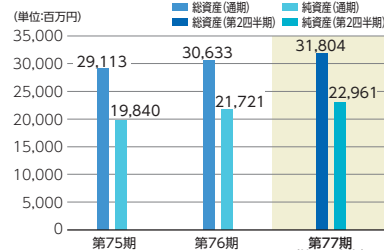
●経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



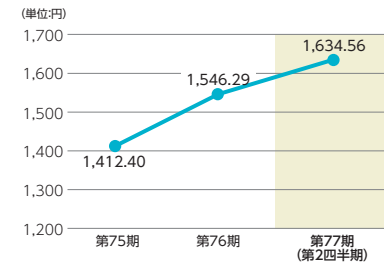
●研究開発費



●総資産／純資産



●BPS(1株当たり純資産額)



株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役 執行役員社長

篠 祐一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。第77期の株主通信[中間報告書]をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、カーエレクトロニクス市場は堅調に推移しましたが、情報通信機器市場は弱含みで推移しました。

このような事業環境の下、当社グループでは、第77期の年度方針として『強みを伸ばそう。専門性を高めよう』を掲げ、各部門横断的な協業を基に設定した戦略・目標に向けて挑戦することで、強みを極め、売上、利益の拡大に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、車載用ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は128億1百万円(前年同期比5.6%増)となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、営業利益は12億64百万円(同13.1%減)、経常利益は13億7百万円(同8.7%減)となりました。投資有価証券売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億81百万円(同5.3%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき9円とさせていただきます。

役員・従業員一同、一層の努力をしてみたいです。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
(資 産 の 部)		
流動資産	20,210	19,312
現金及び預金	6,645	6,800
① 受取手形及び売掛金	7,740	6,973
たな卸資産	4,722	4,638
その他	1,102	901
固定資産	11,593	11,321
② 有形固定資産	9,013	8,672
無形固定資産	407	268
投資その他の資産	2,172	2,380
資産合計	31,804	30,633

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
(負 債 の 部)		
③ 流動負債	5,429	5,091
④ 固定負債	3,413	3,820
負債合計	8,842	8,912
(純 資 産 の 部)		
株主資本	21,340	20,334
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	20,665	19,659
自己株式	△2,339	△2,339
その他の包括利益累計額	1,621	1,387
純資産合計	22,961	21,721
負債純資産合計	31,804	30,633

- POINT ①

「受取手形及び売掛金」は、前期末に比べて7億67百万円増加となりました。主な要因は、車載用ケーブル、半導体製造装置用ケーブル及び医療用特殊チューブの売上が増加したことと、9月末日が土曜日(金融機関の休日)に当たったことによるものです。
- POINT ②

「有形固定資産」は、前期末に比べて3億40百万円増加となりました。主な要因は、「機械装置及び運搬具(純額)」の増加によるものです。
- POINT ③

「流動負債」は、前期末に比べて3億37百万円増加となりました。主な要因は、9月末日が土曜日(金融機関の休日)に当たったことによるものです。
- POINT ④

「固定負債」は、前期末に比べて4億7百万円減少となりました。主な要因は、「長期借入金」が4億17百万円減少したことによるものです。
- POINT ⑤

「特別利益」には、投資有価証券売却益が3億6百万円含まれています。
- POINT ⑥

「特別損失」には、貸倒引当金繰入額が1億68百万円含まれています。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	12,801	12,124
売上原価	9,583	8,901
売上総利益	3,218	3,222
販売費及び一般管理費	1,953	1,767
営業利益	1,264	1,455
営業外収益	52	41
営業外費用	10	64
経常利益	1,307	1,432
⑤ 特別利益	308	—
⑥ 特別損失	171	0
税金等調整前四半期純利益	1,444	1,431
法人税、住民税及び事業税	337	360
法人税等調整額	△74	△50
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,181	1,121

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	988	1,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,268	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△654	△627
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	△441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△895	297
現金及び現金同等物の期首残高	6,751	4,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,856	4,986

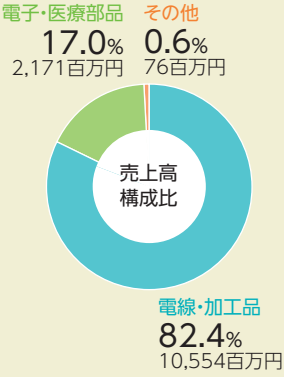
セグメント情報

電線・加工品

車載用ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は105億54百万円(前年同期比7.6%増)となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は12億46百万円(同11.4%減)となりました。

電子・医療部品

医療用特殊チューブ及び放送機器の売上は堅調に推移しましたが、ネットワーク機器の売上が減少したことにより、売上高は21億71百万円(前年同期比3.1%減)となりました。成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は2億64百万円(同9.1%減)となりました。



4K・8K市場への取り組み

当社の放送用光伝送装置はオリンピック中継でも活躍し、その品質の高さを証明した技術により現在のハイビジョン中継器をはじめとする放送機器の市場で確固たる地位を築いております。

放送機器市場は、総務省が2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け4K・8Kを推進し、2018年にはBS・CSでの4K実用放送開始が予定されるなど、現行のハイビジョン(2K)から4K・8Kへの移行期にあります。それらによりデータ伝送の大容量化が進み、伝送機器には高速化及び圧縮技術の高効率化が求められております。弊社では昨年その市場向けに4Kを非圧縮で伝送可能な光中継器(HOL-CBXシリーズ)をいち早くリリースし、既に放送局様でご使用頂いております。

また、大容量のデータを伝送するために放送のIP化も検討されております。IP化することで既存ネットワークのインフラを使用し低コストで4K・8K伝送が可能となります。さらに同じインフラを使用して放送以外のデータも伝送することが可能となるため放送以外のソリューションにも利用することが可能となります。その市場ニーズに対して、IP伝送装置(HOL-PBシリーズ)を開発中でございます。

以上のような技術背景の中で、放送以外で中期的に急速に成長するとされている市場が、デジタルサイネージに代表される「広告」、また8K内視鏡手術に牽引される「医療」、さらには「イベント中継」です。当社は光中継器と合わせIP伝送装置(HOL-PBシリーズ)のシステムソリューションでその市場のデファクトスタンダードを目指し、製品企画、顧客ニーズに合った提案活動に取り組んでまいります。



光中継器 HOL-CBXシリーズ



IP伝送装置 HOL-PBシリーズ

●会社概要

商号	平河ヒューテック株式会社 HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設立	昭和23年9月
資本金	15億5,507万760円
従業員数	2,521名(連) 360名(単)

役員氏名

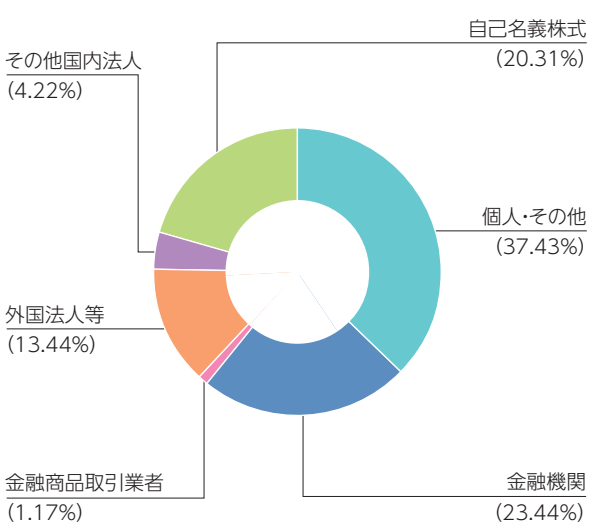
ヒューテックグループ代表取締役会長	隅田和夫
代表取締役	篠祐一
取締役	目黒裕次
取締役	宇梶大
社外取締役	湯佐富治
社外取締役	沼田恵
常勤監査役	橋本孝
社外監査役	阿部博
社外監査役	江部安弘

執行役員社長	篠祐一
執行役員	木村正紀
執行役員	椎名祐一郎
執行役員	石戸隆雄
執行役員	澤口健一
執行役員	日高浩

●ヒューテックグループ

海外拠点	国内拠点
●連結子会社(製造) HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V. HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V. 福泰克(深圳)电子有限公司 HEWTECH PHILIPPINES CORP. ●連結子会社(販売) HIKAM AMERICA, INC. 上海河拓克貿易有限公司 福泰克香港有限公司 台湾福泰克股份有限公司 HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD. ●連結子会社(製造・販売) 福泰克(連雲港)电子有限公司 HEWTECH (THAILAND) CO., LTD.	●本社 ●営業拠点(営業所) 営業本部 東北営業所 北関東営業所 中部営業所 関西営業所 ●開発・生産(工場・事業所) 古河事業所 桃生工場 福島工場 新潟工場 ●連結子会社(製造・販売) 四国電線株式会社 株式会社新潟電子

●所有者別株式分布状況



当社ホームページのご案内

<http://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。